

北海道開発局事業審議委員会（令和7年度第4回） 審議案件一覧【事後評価】《水産基盤整備事業》

	事業名	上段：新規又は 前回評価 下段：今回評価	事業の概要、目的・必要性等	事業期間		総事業費 (億円)	事業の効果の発現状況	費用便益比 B/C ※1	総費用 (億円)	総便益 (億円)	今後の事後評価の必要性 等	備考
				事業化年度	完了年度							
後～3	サロマ湖地区 直轄特定漁港漁場 整備事業	前回評価	流水流入対策を図るための防波堤（防 氷）整備及び漁業活動の安全性向上を 図るための航路等の整備を行う事業で ある。	H14	R1	160.6	<ul style="list-style-type: none"> 水産物生産コストの削減効果 流水被害対策が不要となった。 漁獲機会の増大効果 外海への出漁日数が増加した。 漁獲可能資源の維持・培養効果 ホタテガイ生産量が維持された。 漁業就業者の労働環境改善効果 出入港時の操作環境の改善が図られた。 避難・救助・災害対策効果 外来船の避難受け入れ態勢が構築された。 	1.12	200.4	225.1	想定した事業効果の発現が認められているため、今 後の事後評価及び改善措置の必要性はないと考 える。	
		H26						—				
		事後評価						—				
		R7			191.7	1.06		513.0	542.2			
						(1.66)						
						[2.15]						
後～4	元稲府地区 直轄特定漁港漁場 整備事業	新規評価	荒天時の越波対策における外郭施設、 水産物の品質・鮮度保持を図るための 屋根付き岸壁及び漁業活動の効率化・ 安全性向上を図るための係留施設等の 整備を行う事業である。	H24	R3	21.0	<ul style="list-style-type: none"> 水産物生産コストの削減効果 漁業活動の効率化が図られた。 漁獲可能資源の維持・培養効果 ウニ・コンブの漁獲量が増加した。 漁獲物付加価値化の効果 品質低下が防止された。 漁業就業者の労働環境改善効果 漁業従事者の労働環境の改善が図られた。 	1.63	17.8	29.0	想定した事業効果の発現が認められているため、今 後の事後評価及び改善措置の必要性はないと考 える。	
		H23						—				
		事後評価						—				
		R7			24.7	1.21		53.7	64.8			
						(1.83)						
						[2.32]						

※1 1段目 社会的割引率を4%に設定して算定したB/C
(2段目) " を2%に設定して算定したB/Cの参考値
[3段目] " を1%に設定して算定したB/Cの参考値